

山本水産輸送の三原営業所 豪雨経験し新拠点へ

営業所独自のBCCPも検討

【広島】国道2号沿いに工場や物流施設、運送会社が立ち並ぶ三原市の本郷地区。平成30年の西日本豪雨では中心を流れる沼田川が氾濫し大きな被害を出したほか、昨年夏にも大雨で支流の堤防が決壊するなど、近年水害が相次いで着任した。

山本水産輸送（山本新吾社長、岡山市中区）の三原営業所は平成22年に開設。昨秋5月ほど東に移転し、約160坪の新拠点を構えた。荷物が乗用車が水没した。移転は鶏肉をメインに鶏卵や豆腐

前の事務所は西日本豪雨で被災。事務所は天井に迫る高さまで泥水が押し寄せ、トラックは無事だった。移転はこの経験が一つのきっかけになった。同社グループは昨年、事業継続力強化認定を受けた。「車両の避難先の確保など、経験者だからこそ営業所独自にもBCCPを考えた」と課長は話す。

育スケジュールに沿って指導12項目を毎月一つずつ実施。グループや協力会社で起きた重大事故はその都度情報共有し、事故防止を常に意識付けている。

なお、営業所では本社の教

「会社がドライバーとコミュニケーションを図る意味で一緒に昼食に出かけることを推奨している」とし、移転や着任が落ち着いた今、「これから皆ともっと良い関係を築きたい」と意気込む。

新拠点、新体制で迎えた今年、目標を「毎月1人、人材を確保する。それに伴って増車したい。またGマークの取得も目指す」と話している。

（伊藤由貴）



大谷課長

山本水産輸送の三原営業所 豪雨経験し新拠点へ

営業所独自のBCCPも検討

【広島】国道2号沿いに工場や物流施設、運送会社が立ち並ぶ三原市の本郷地区。平成30年の西日本豪雨では中心を流れる沼田川が氾濫し大きな被害を出したほか、昨年夏にも大雨で支流の堤防が決壊するなど、近年水害が相次いで着任した。

山本水産輸送（山本新吾社長、岡山市中区）の三原営業所は平成22年に開設。昨秋5月ほど東に移転し、約160坪の新拠点を構えた。荷物が乗用車が水没した。移転は鶏肉をメインに鶏卵や豆腐

前の事務所は西日本豪雨で被災。事務所は天井に迫る高さまで泥水が押し寄せ、トラックは無事だった。移転はこの経験が一つのきっかけになった。同社グループは昨年、事業継続力強化認定を受けた。「車両の避難先の確保など、経験者だからこそ営業所独自にもBCCPを考えた」と課長は話す。

「会社がドライバーとコミュニケーションを図る意味を推奨している」とし、移転や着任が落ち着いた今、「これから皆ともっと良い関係を築きたい」と意気込む。

なお、営業所では本社の教

大谷課長

育スケジュールに沿って指導12項目を毎月一つずつ実施。グループや協力会社で起きた重大事故はその都度情報共有し、事故防止を常に意識付けている。

（伊藤由貴）

